

行政事業レビューシート (内閣府)

予算事業名	特別参観経費(京都迎賓館)	事業開始年度	平成17年度	作成責任者		
担当部局庁	迎賓館京都事務所	担当課室	迎賓館京都事務所運営課	杉浦 哲夫		
会計区分	一般会計	上位政策	迎賓施設の適切な運営			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		関係する計 画、通知等				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	迎賓館は、国公賓等の接遇のための施設であり、施設の性質上、非公開が原則。他方、日本の伝統的技能を生かして建設された価値の高い建築物であることから参観の希望も多く、国民に対する行政サービスとして公用室等を公開し、迎賓施設・賓客外交等の重要性について広く国民の理解を深めることを目的として実施。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	国公賓等の接遇に支障のない時期に参観を実施(夏季に10日間)。参観希望者の募集を行い、応募多数の場合には抽選により参観者を決定。 参観に当たってはボランティア、接遇時の設営、各種説明パネル等により迎賓館の施設・調度品、接遇状況等を説明するなど、参観の内容を充実させている。					
実施状況	平成21年度は、5月に応募を受付し、7月下旬の10日間に参観を実施。参観者数は約12,000人。なお平成17年度に開館し、同年から参観を開始、これまで毎年、定員を上回る応募状況。このため、定員枠の拡大を行ってきた。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	19	12	12	13	13
	執行額	10	15	17		
	執行率	52.6%	125.0%	141.7%		
	総事業費(執行ベース)	10	15	17		
自己点検	支出先・ 用途の把握 水準・ 状況	募集受付データ処理や、参観準備段階から事業終了までの各過程において、実施計画、運営マニュアル、報告書等の提出を求め、進捗状況・内容を確認。				
	見直しの 余地	開館以来これまで毎年参観希望者が定員を上回る応募状況となっており、今なお参観の希望が高いものとなっている。このため、引き続き運用の改善を図りながら、事業を実施する予定。				
予算 執行率 の 所見率	参観人数が赤坂迎賓館より少ない京都迎賓館が、執行額では多額となっている現状を踏まえ、赤坂迎賓館の調達方法等を参考に運営の全体的な効率化を図るべき。					
補 記	広く国民への理解を深めることを目的としているため、参観機会の拡大等を考慮し定員枠の拡大を行ってきており、平成20年度より参観応募書等を電算処理にて抽選を行うこととしたことから予算額を超えて執行している。					

内閣府迎賓館京都事務所
17百万円

【一般競争入札】	【一般競争入札】	【小額随意契約】
A.(株)日商社 9百万円	B.(株)日商社 6百万円	(株)ロイヤルホテル外12 1百万円
参観支援に関する請 負業務	参観応募葉書の電算 処理・通知業務	生花など、接遇時をイメー ジした、しつらえ業務

<小額随意契約相手先>		(単位:百万円)
テーブルセット代		0.18
(株)ロイヤルホテル		
生け花代 専慶流		0.08
生け花代 池坊		0.08
生け花代 東福寺未生流		0.08
生け花代 小松流		0.08
生け花代 嵯峨御流		0.08
生け花代 細川未生流		0.08
生け花代 遠州		0.08
生け花代 草月流		0.08
生け花代 京楓流		0.08
生け花代 都未生流		0.07
生け花代 華道本能寺		0.07
生け花代 未生流中山文甫会		0.07
計		1.11

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

A.(株)日商社			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
会場設営等 経費	施設保護(養生)、金属探知機・臨時 トイレ等の借料設営、誘導案内 の設置・作成など	5			
人件費	運営管理・受付誘導案内スタッフ	3			
広報経費	広報ポスター・チラシの作成・掲出	1			
計		9	計		0
B.(株)日商社			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	ほかき整理、データ入力・照合、抽 選処理	5			
雑費	印刷、発送費用	1			
計		6	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出さ
 れている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)